

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室), 会議室(1室), 控室等(13室), 駐車場(平日 385 台/土日祝日 452 台)等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1~R 8.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4期目	H28.4.1~R 3.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	28.0%	39.1%	11.9ポイント
R3		22.0%	27.2%	△18.8ポイント	5.2ポイント (123.6%)
	4期平均 H28~R2	49.8%	46.0%	△0.8ポイント	△3.8ポイント (92.4%)
	3期平均 H23~H27	45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)
	2期平均 H20~H22	43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)
	1期平均 H17~H19	—	46.7%	5.7ポイント	—
	H16 (導入前)	—	41.0%	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、ワクチン大規模接種会場等に利用されたことや、ウィズコロナの浸透に伴い、大規模催事が順調に実施されたこと等により目標値を大きく上回った。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
		1. 催事主催者アンケート (利用満足度等調査)
	2. 利用者アンケート (利用者が希望する催事)	503 件回収 (500 件の目標を達成)
調査実施内容	【主な意見】	【その対応状況】
	1. 催事主催者満足度 ① スタッフ対応 満足 90.3% (R3 85.0%) ② 施設・設備 満足 67.0% (R3 70.1%) ③ 開催目的の成果 満足 68.0% (R3 70.1%) ④ 今後の利用意向 したい 92.2% (R3 41.8%) 2. 利用者が希望する催事は 【第1位】音楽興行、【第2位】趣味娯楽、【第3位】玩具・ゲーム展示即売 2. コミュニティ FM による催事 PR では不十分	①懇切・丁寧な対応を今後とも継続し、リピーターを確保 ②5月中旬の冷温水発生機の故障判明後、催事開催時にスポットクーラーと氷柱で冷房機能を代替 ③ウィズコロナの浸透により催事者マインドが回復傾向にある一方で、集客数の伸び悩みもあることから、イベント情報の提供手段を強化 今後の集客数増に繋げる自主事業の検討材料とする。 フリーペーパーを活用したPRも行う。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○ 必要時に随時電話及びメールで報告
管理運営会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築 50 年以上、西展示館は築 30 年以上を経過し、老朽化が著しいことから、修繕の規模や目的、性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。	
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し、長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	5期	R4	10,225	10,225		5期	R4	265,035	83,395
	R3	—	△11,129		R3	181,640	△117,595		
4期平均 H28～R2		11,129	11,129	4期平均 H28～R2		299,235	△14,382		
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27		313,617	57,552		
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22		256,065	△43,297		
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19		299,362	62,242		
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		237,120	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	10,225	—	10,225	光熱費高騰に係る委託料の増
		料金収入	265,035	181,640	83,395	利用料金制(※1) ワクチン大規模接種会場の利用及び 大規模催事の利用による増
		その他収入	2,689	2,651	38	事業協力金の増
		計(A)	277,949	184,291	93,658	
	支出	人件費	30,109	39,278	△9,169	プロパー職員1名の退職による減
		光熱水費	33,122	20,851	12,272	電気・ガス料金の高騰による増
		設備等保守点検費	8,494	7,771	723	西館の冷温水発生機故障に伴う保守点検 回数が増
		清掃・警備費等	69,034	68,558	476	催事件数の増による管理委託業者の時間 外手当等人件費の増
		施設維持修繕費	13,342	3,690	9,652	西館展示場の漏水による緊急工事、西館 冷温水発生機故障による応急対応による 増
		事務局費	24,748	23,747	1,001	PC更新による増
その他		11,940	5,725	6,215	消費税の増	
計(B)	190,789	169,620	21,169			
収支①(A-B)		87,160	14,671	72,489		
自主事業 (※2)	収入(C)	0	0	0		
	支出(D)	0	0	0		
	収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)		87,160	14,671	72,489	変動納付金 87,160 千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び
指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	施設のバリアフリー対策として、本館の階段に障がい者のための階段昇降機（車椅子用リフト）を設置するとともに、バルコニーからの敷居を跨いだ入退室がスムーズに行えるよう、スロープを設置した。	施設の老朽化が進む中、利用者の利用促進につながるリニューアルを進めることで、満足度の向上に努めている。 マスコミとの連携によりイベントの効果的なPRを行う等、利用促進に積極的に取り組んでいる。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送局で、月に一度、翌月の広島産業会館のイベントを効果的にPRし、催事者の定着促進とリスナーへの会館の認知度の向上を図った。	
	○業務の実施による、施設の利用促進	「広島 BOX～メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において、県内製品等の展示等を行うとともに、「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。	
	○施設の維持管理	築30年以上を経過し、老朽化している西展示館において、商談室と控室の天井とカーテンをリニューアルした。	
管理の人的基礎	○組織体制の見直し	不測の事態に備え、原則として館長もしくは課長が常駐する執行体制や職員間の緊急連絡網を構築した。	燃料費高騰による光熱水費の増加を踏まえ、可能な範囲で支出の削減に努めることにより、収支の適正を図っている。
	○効率的な業務運営	燃料費高騰による光熱水費の増加を踏まえ、支障のない範囲で修繕工事の延期を行うなど、支出の削減に努めた。	
	○収支の適正		
総括		新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場として利用されたことや、大規模催事が順調に実施されたこと等により、展示場利用延床面積は771,115㎡、面積稼働率は39.1%となり、目標の28.0%を大きく上回った。それに伴い、収支は黒字となり、87,160千円を県に納付することができた。	県のワクチン大規模接種会場として利用されたことなどにより、面積稼働率は目標値を達成しており、収支も黒字であった。利用促進に向けて適切な運営を行っている。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加に対しては、国・県の方針を踏まえつつ、収支予測を行った上で、適切に対応する。 ○ 老朽化した施設の機能維持や修繕など、利用者の要望が多い箇所については、収支状況を見極めながら、適宜・適切な更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加については、国の状況を注視しつつ、指定管理者と県で連携し、適切に対応する。 ○ 利用促進及び計画的かつ効果的な修繕に向けて県と指定管理者で連携して進めていく。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウィズコロナの浸透により、展示会やイベント等を活用した企業のPR活動は回復傾向にあるものの、全盛期(H30)の65%程度に止まっていることから、継続的な営業活動を行う必要がある。 ○ 新たな利用料金割引制度を営業ツールとした利用率向上策の検討など、安定した収入の確保に向けて取り組む。 ○ 顧客への訪問営業や休眠しているリピーターの掘り起こし、閑散期や稼働率の低い会場の利用促進策を検討する。 ○ DX化の成功事例の紹介など、地域企業の課題解決に向けたタイムリーなテーマで開催される展示会・セミナー等の誘致を検討する。 	<p>利用者の利便性、施設の魅力向上により展示場の利用促進を図るため、指定管理者の取り組みをサポートしていく。</p>